

## 共同生活援助（グループホーム）の概要

## 1 障がい者のグループホーム

- ・障害のある方が地域住民との交流が確保される地域の中で、家庭的な雰囲気の下、「世話人」等の支援を受けながら、アパートや戸建て住宅等で共同生活を営む住まいの場。

## 2 グループホームの種類

## (1) 介護サービス包括型

- ・対象者は、地域において自立した日常生活を営む上で、相談、入浴、排泄又は食事の介護その他日常生活上の援助を必要とする障害者
- ・主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他日常生活上の援助を実施
- ・利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施

## (2) 外部サービス利用型

- ・対象者は、地域において自立した日常生活を営む上で、相談等の日常生活上の援助を必要とする障害者
- ・主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談その他日常生活上の援助を実施
- ・利用者の状態に応じて、入浴、排せつ又は食事の介護その他日常生活上の援助を実施（外部の居宅介護事業所に委託）
- ・利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施

## (3) 日中サービス支援型

- ・対象者は、地域において自立した日常生活を営む上で、相談、入浴、排泄又は食事の介護その他日常生活上の援助を必要とする障害者
- ・主として夜間において、共同生活を営むべき住居における相談、入浴、排せつ又は食事の介護その他日常生活上の援助を実施（昼夜を通じて1人以上の職員を配置）
- ・利用者の就労先又は日中活動サービス等との連絡調整や余暇活動等の社会生活上の援助を実施
- ・短期入所（定員1～5人）を併設し、在宅で生活する障害者の緊急一時的な宿泊の場を提供
- ・1つの建物の定員は20人以下

◎事業者は、地域に開かれたサービスとすることにより、サービスの質の確保を図る観点から、協議会等に対して事業の実施状況を報告し、評価を受けるとともに、必要な要望、助言等を聞く機会を設けなければならない（基準省令第213条の10）

## 日中サービス支援型共同生活援助事業実施報告書

### <対象事業所>

No.	法人名	事業所名	頁
1	社会福祉法人 新潟慈生会	グループホーム スカイ-1	3~7
2	一般社団法人 みらいず	グループホーム おーる	8~12

## 事業実施状況報告書

報告日：令和 8 年 1 月 6 日

## 1 基本情報

法人名	社会福祉法人 新潟慈生会
事業所名	スカイ-1 (2011年6月2日指定)
事業所所在地	新潟県胎内市中村浜築地原 699-131
主たる対象者	精神・知的・身体

## 2 各住居の状況

住居名	住居の所在地	定員	
		共同生活援助	短期入所
スカイ-1 (2棟構成) (2011年6月2日～)	新潟県胎内市中村浜築地原 699-131	8人	
スカイ-1 (短期入所) (2018年9月1日～)	新潟県胎内市中村浜築地原 699-131	7人	1人

## 3 実施状況

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	
(1) 人員配置について (実配置職員数) ※勤務形態一覧表も添付すること	管理者	1人
	サービス管理責任者	1人
	世話人	12人
	生活支援員	2人
	夜間支援従事者	6人
(2) 利用者数	身体障がい	0人
	知的障がい	区分3： 2人 区分2： 1人
	精神障がい	区分4： 3人 区分3： 5人 区分2： 3人
	難病等対象者	0人
	計	14人 (平均年齢：59.2歳、平均支援区分：2.9)
(3) 利用者の障がい特性等	医療的ケアが必要な者	0人
	強度行動障害の利用者	0人
(4) 支援の基本方針	<ul style="list-style-type: none"> <li>・障がいの重度化、高齢化に対応できるよう、生活支援を厚くし本人らしい生活を営むことができるよう支援を行います。</li> <li>・本人の地域生活を支えつつ、スカイ以外の生活の場（一人暮らしや、介護保険サービス利用等）についても本人の意向を尊重し、意思決定できるよう支援を行います。</li> </ul>	

<p>(5) 日中の支援方法（日中グループホームで過ごす利用者に対して、どのような支援を行っているか）</p>	<p>日中活動の提供</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・創作活動 アート展や作品展出品を目標とし、全体と個々の作品作りに取り組んでいる。</li> <li>・健康づくり活動 ぶれすぼ胎内を利用しウォーキングを行ったり、施設内でも運動に取り組めるよう電動バイクを設置している。 看護師による日々の健康管理支援を実施している。また、健康診断への意識を高められるよう働きかけている。（健康診断の必要性、病気の早期発見早期治療の重要性を看護師から説明している。）</li> <li>・個別支援 日常生活支援（掃除、洗濯、買い物等）を実施している。 外出支援とレクリエーション活動で、買物支援や外食等の機会を提供し、気分転換を図り楽しみや興味を広げ意欲向上につなげるとともに、公共の場を利用するにあたり、マナーやルール等の社会性の向上を図る活動を提供している。</li> <li>・生活、就労に関する相談及び助言、関係機関との連絡調整、その他の必要な日常生活上の支援の提供。社会性を獲得できるよう、集団生活の困り事等を話し合うミーティングや茶話会を適時開催している。</li> </ul>													
<p>(6) 利用者の1日の活動スケジュール ※別紙に記載</p>	<p>日中の過ごし方</p> <table border="1" data-bbox="592 1240 1436 1391"> <tr> <td data-bbox="592 1240 986 1391">グループホーム内での過ごし方（余暇活動等・支援方法）</td> <td data-bbox="986 1240 1436 1391">グループホーム外での過ごし方（日中活動事業所等のサービス種類・利用状況等）</td> </tr> </table>		グループホーム内での過ごし方（余暇活動等・支援方法）	グループホーム外での過ごし方（日中活動事業所等のサービス種類・利用状況等）										
グループホーム内での過ごし方（余暇活動等・支援方法）	グループホーム外での過ごし方（日中活動事業所等のサービス種類・利用状況等）													
<p>(7) 日中活動の状況</p>	<table border="1" data-bbox="592 1391 1436 1697"> <tr> <td data-bbox="592 1391 1086 1451">他の日中活動サービス事業所利用者</td> <td data-bbox="1086 1391 1436 1451">8人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="592 1451 1436 1512">（主な他の日中活動サービス利用先）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="592 1512 1436 1550">自立訓練事業所 1人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="592 1550 1436 1590">就労B型事業所 4人（内1名 デイケア併用）</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="592 1590 1436 1628">デイケア 1名</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="592 1628 1436 1697">障がい者雇用 2名</td> </tr> </table>		他の日中活動サービス事業所利用者	8人	（主な他の日中活動サービス利用先）		自立訓練事業所 1人		就労B型事業所 4人（内1名 デイケア併用）		デイケア 1名		障がい者雇用 2名	
他の日中活動サービス事業所利用者	8人													
（主な他の日中活動サービス利用先）														
自立訓練事業所 1人														
就労B型事業所 4人（内1名 デイケア併用）														
デイケア 1名														
障がい者雇用 2名														
<p>(8) 指定計画相談事業者の状況</p>	<table border="1" data-bbox="592 1697 1436 1883"> <tr> <td data-bbox="592 1697 1086 1758">別法人等の計画相談事業所利用者</td> <td data-bbox="1086 1697 1436 1758">4人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="592 1758 1086 1818">自法人等の計画相談事業所利用者</td> <td data-bbox="1086 1758 1436 1818">10人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="592 1818 1086 1883">セルフプランの者</td> <td data-bbox="1086 1818 1436 1883">0人</td> </tr> </table>		別法人等の計画相談事業所利用者	4人	自法人等の計画相談事業所利用者	10人	セルフプランの者	0人						
別法人等の計画相談事業所利用者	4人													
自法人等の計画相談事業所利用者	10人													
セルフプランの者	0人													
<p>(9) 短期入所の受け入れ状況</p>	<table border="1" data-bbox="592 1883 1436 2145"> <tr> <td data-bbox="592 1883 1086 1944">利用者数（延人数）</td> <td data-bbox="1086 1883 1436 1944">248人</td> </tr> <tr> <td data-bbox="592 1944 1203 2004">緊急短期入所受入加算の算定人数（延人数）</td> <td data-bbox="1203 1944 1436 2004">34人</td> </tr> <tr> <td colspan="2" data-bbox="592 2004 1436 2145"> <p>（緊急受け入れの事例） 地域生活で人間関係のトラブルを抱え、希死念慮を訴えた方の緊急受け入れを行った。</p> </td> </tr> </table>		利用者数（延人数）	248人	緊急短期入所受入加算の算定人数（延人数）	34人	<p>（緊急受け入れの事例） 地域生活で人間関係のトラブルを抱え、希死念慮を訴えた方の緊急受け入れを行った。</p>							
利用者数（延人数）	248人													
緊急短期入所受入加算の算定人数（延人数）	34人													
<p>（緊急受け入れの事例） 地域生活で人間関係のトラブルを抱え、希死念慮を訴えた方の緊急受け入れを行った。</p>														

(10) 地域との交流方法	障がい者が一人の生活者として、住み慣れた地域で当たり前の生活をしていくためには地域との繋がりが不可欠であると考えます。現在、立地もあり地域との繋がりが希薄となっております。第三者委員を中村浜区長に担っていただいております。その他、災害時も考慮しさらに地域の方々との繋がりを深められるような働きかけが必要であると考えます。	
(11) 権利擁護に対する配慮	虐待防止に関する責任者：村山 茂和	
	虐待防止対策検討委員会等の開催	○有・無
	身体拘束等適正化対策検討委員会等の開催	○有・無
(12) 事業所の特徴 (他事業所との差別化等)	・障がい程度の重度化・高齢化に伴い、他事業所の利用が困難となり、施設内での活動や支援を必要とされる方への日中活動の提供をしております。また、入居者が自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、障がい支援区分や入居者個々の障がい特性に応じて必要な日中活動サービス利用の支援や日常生活上の支援を行います。	
(13) 事業実施等における課題	・障がいサービスと介護保険サービスの狭間の方が増えております。加齢に伴い生ずる心身の変化もありますが、障がい特性も変わらずあり、介護保険サービスのみでは障がい特性に対応する専門性が断たれてしまいます。特に、高齢障がい者に対しては、障がいサービスと介護保険サービスを柔軟に併用でき、身体機能の低下を防ぎ障がいサービス事業の利用と共同生活援助の生活をどれだけ維持できるかが課題となる。	
(14) その他	なし	
(15) 協議会からの要望・助言への対応（2回目以降）	(前回の助言内容) 利用している障がい者の高齢化に対応するため、高齢福祉分野と障がい福祉分野の専門職が学び合う機会を設けると良い。  介護福祉士を配置し、高齢障がい者への支援を厚くしている。入居者の介護保険サービス利用は無かったが、障がい特性の理解についての働きかけは引き続き必要である。	

別紙

## (6)利用者の1日の活動スケジュール ※5人を任意抽出

	日中の過ごし方	
	グループホーム内での過ごし方 (余暇活動等・支援方法)	グループホーム外での過ごし方 (日中活動事業所等のサービス種類・利用状況等)
利用者A (区分4・67歳)	生活支援(入浴、衛生管理、外出支援、服薬管理等)生活全般における支援を提供している。癌を患っており常に看護師による体調管理と医療との連携を必要としていた。	施設内で過ごす。病状の悪化に伴い居室のベッド上で過ごす事が多かった。
利用者B (区分3・64歳)	受診同行、服薬管理、看護師による持病(てんかん発作)の経過観察、健康管理支援を受けながら生活をしている。 余暇活動として、行事や買物支援を受けながら、働く事と休む事のバランスを取りながら生活をしている。	月～金、障害者雇用で就労している。持病のてんかん発作から休む事が増えた。また、職場にて、てんかん発作を起こし救急搬送されている。仕事時の心身の不調の訴えが聞かれているとのこと。職場と適宜、情報共有しながら就労を継続している。
利用者C (区分4・57歳)	施設内で多くの時間を過ごしている。常に幻聴があり、幻聴に行動を左右され、集団行動が苦手という特性があり、周囲から孤立しがちである。生活動作も幻聴に左右されるため必要以上に時間がかかり、身の回りのことをこなす事で精一杯になっている。時々、外出をし気分転換をしている。	他事業所の利用なし。 利用希望なし。
利用者D (区分3・48歳)	対人恐怖あり、外出は月1回の受診と家族との買物のみであり、1日施設内で過ごしている。絵を描く事を得意とし、日中活動(創作)に参加し作品展に向けての作品作りに取り組んでいる。一人での外出は出来ず受診は職員同行し、買物は家族の支援を受け生活をしている。	他事業所の利用なし。 自分で小遣いを稼ぎたいという気持ちはあるが、一歩踏み出せずにいる。
利用者E (区分3・65歳)	施設内で生活全般の支援を受けながら生活をしている。入浴、更衣など支援者の声掛け促しで行っている。足が悪く歩行不安定である。転倒し骨折したことを機にさらに行動範囲や歩行距離が狭まった。受診の必要性を感じておらず看護師支援のもと内科、整形外科、緊急時の受診を行っている。	他事業所の利用なし。 身体機能の低下から、介護保険サービス利用について検討中である。



## 事業実施状況報告書

報告日：令和 8 年 1 月 13 日

## 1 基本情報

法人名	一般社団法人みらいず
事業所名	グループホームおーる (令和 3 年 4 月 1 日指定)
事業所所在地	胎内市東本町 22 番 31 号 共生型福祉拠点施設まち・らぼ
主たる対象者	身体・知的・精神・難病

## 2 各住居の状況

住居名	住居の所在地	定員	
		共同生活援助	短期入所
グループホームおーる (令和 3 年 4 月 1 日～)	胎内市東本町 22 番 31 号 共生型福祉拠点施設まち・らぼ	10 人	2 人

## 3 実施状況

項目	【事業所記入欄】 具体的な内容	
(1) 人員配置について (実配置職員数) ※勤務形態一覧表も添付すること	管理者	1 人
	サービス管理責任者	1 人
	世話人	5 人
	生活支援員	3 人
	夜間支援従事者	5 人
	看護師	1 人
(2) 利用者数	身体障がい	区分 6 : 2 人 区分 5 : 1 人
	知的障がい	区分 5 : 2 人 区分 4 : 2 人
	精神障がい	区分 5 : 1 人 + 区分 4 : 1 人
	難病等対象者	区分 6 : 1 人
	計	10 人 (平均年齢 : 54 歳、平均支援区分 : 5.0)
(3) 利用者の障がい特性等	医療的ケアが必要な者	1 人
	強度行動障害の利用者	0 人

(4) 支援の基本方針	1. 人はみんな違う・・・いろいろな考えがあつてよい 2. 毎日生活に感動が生まれ、わくわくできる人生を 3. リスクがあるから人生はおもしろい 4. CARE・・・こだわり 5. 人と人をつなげ地域がひとつに			
(5) 日中の支援方法（日中グループホームで過ごす利用者に対して、どのような支援を行っているか）	認知症対応型共同生活介護の入居者との交流、地域の方々に開放する地域交流スペースを活用した余暇支援及び買い物等の外出支援。自立課題実施。毎月開催の行事活動の準備、参加。チラシ折り作業を受託し、工賃を還元。等			
(6) 利用者の 1 日の活動スケジュール ※別紙に記載	日中の過ごし方 <table border="1" data-bbox="592 629 1430 779"> <tr> <td data-bbox="592 629 986 779">グループホーム内での過ごし方（余暇活動等・支援方法）</td> <td data-bbox="991 629 1430 779">グループホーム外での過ごし方（日中活動事業所等のサービス種類・利用状況等）</td> </tr> </table>		グループホーム内での過ごし方（余暇活動等・支援方法）	グループホーム外での過ごし方（日中活動事業所等のサービス種類・利用状況等）
グループホーム内での過ごし方（余暇活動等・支援方法）	グループホーム外での過ごし方（日中活動事業所等のサービス種類・利用状況等）			
(7) 日中活動の状況	他の日中活動サービス事業所利用者	8 人		
（主な他の日中活動サービス利用先） 就労継続支援 B 型 2 人、就労継続支援 B 型/介護保険デイケア 1 人 生活訓練/地域活動支援センター 1 人、基準該当生活介護/就労継続支援 B 型 1 人、精神科デイケア 1 人、介護保険デイケア 1 人 地域活動支援センター 1 人				
(8) 指定計画相談事業者の状況	別法人等の計画相談事業所利用者	0 人		
自法人等の計画相談事業所利用者		10 人		
セルフプランの者		0 人		
(9) 短期入所の受け入れ状況	利用者数（延人数）	525 人		
緊急短期入所受入加算の算定人数（延人数）		43 人		
（緊急受け入れの事例） ・警察介入案件あり、精神状態不安定のため。→翌日受診、医療保護入院となる。 ・同居母の持病悪化による緊急入院のため。→母の退院まで受け入れ。 ・持病（痛風）悪化により在宅生活困難なため。→状態改善せず入院治療となる。 ・通所先生活介護事業所が新型コロナ蔓延により入浴支援受けられず受け入れ。 ・同居母入院に伴う精神不安定のため受け入れ。				
(10) 地域との交流方法	2 階の地域交流スペースを開放し、地域の東本町サロン活動が定期開催されており、入居者も参加させていただいている。 日曜日実施のフードバンクに地域ボランティアが毎回 10 名程度参加され、入居者も手伝いをしており交流する機会がある。 地域の有償ボランティア、傾聴ボランティアの受け入れを実施し			

	<p>ている。</p> <p>避難訓練実施時には地域の回覧板でお知らせし、地域住民にご参加いただいている。</p>	
(11) 権利擁護に対する配慮	虐待防止に関する責任者：平野政志	
	虐待防止対策検討委員会等の開催	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
	身体拘束等適正化対策検討委員会等の開催	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
	身体拘束等適正化のための指針の整備	<input checked="" type="checkbox"/> 有・無
(12) 事業所の特徴 (他事業所との差別化等)	<p>介護保険の認知症対応型共同生活介護(6名定員)と同ユニットで運営している。地域生活支援拠点施設として、2階に基幹相談支援センターもないがあるため、日頃より相談支援専門員との連携を取りやすい。</p> <p>有償ボランティアで障がい当事者2名(精神・若年性認知症)受け入れ実施している。</p>	
(13) 事業実施等における課題	<p>入居者の身体機能低下や、認知症対応型共同生活介護入居者と同ユニットで運営しているため、介護スキルの向上。</p> <p>入居者の看取りについて体制整備中。</p> <p>業務と支援(関わり)のバランス、方向性を職員間で統一、支援に対する意識の向上。</p> <p>職員の確保。</p>	
(14) その他	なし	
(15) 協議会からの要望・助言への対応 (2回目以降)	<p>(前回の助言内容)</p> <p>利用している障がい者の高齢化に対応するため、高齢福祉分野と障がい福祉分野の専門職が学び合う機会を設けると良い。</p> <p>当事業所は介護保険認知症対応型共同生活介護「グループホームはるか」と同ユニットの共生型で運営しており、開設当初から高齢福祉分野の研修を行っていたが、上記の助言を受けてより専門性を高めるため、以下の取り組みを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・認知症ケア専門士の介護支援専門員による認知症ケアについての内部研修実施(R6.7、R6.10)</li> <li>・入居者の「看取り」を行っている外部施設へ視察研修を実施(R6.9)</li> <li>・介護福祉士が中心となり、介護スキルについての内部研修実施(R6.12)</li> <li>・外部講師を招き、腰痛予防の研修を実施(R7.3)</li> <li>・R6.7.24に開催した共生型についての講演会でお招きした惣万様が運営する「このゆびと一まれ」へ視察研修を実施(R6.10)</li> </ul>	

別紙

## (6)利用者の1日の活動スケジュール ※5人を任意抽出

	日中の過ごし方	
	グループホーム内での過ごし方 (余暇活動等・支援方法)	グループホーム外での過ごし方 (日中活動事業所等のサービス 種類・利用状況等)
利用者A (身体・区分6・61歳)	車椅子のため排泄、入浴全般 介助必要。 身体機能維持のため、上肢、 下肢のリハビリ実施の介助。 外出支援(買い物、美容室)	病院外来リハビリ 1/週
利用者B (身体・知的・区分6・61歳)	視覚障害1級あり、移動は手 引き介助。自立課題を実施。 機能訓練のため運動を実施。	不定期で地域活動支援センター の活動参加。
利用者C (身体・知的・区分5・44歳)	導尿カテーテル留置のため、 訪問看護2/週利用。排泄介助。 生活習慣(食事、リズム、金銭、 掃除)についての支援。外出支 援(買い物、コンサート)	就労継続支援B型 2/週 基準該当生活介護 3/週
利用者D (知的・区分5・34歳)	創作活動、自立課題を実施。 居室清掃、洗濯を一緒に実施。 外出支援(買い物、散歩)	生活訓練 2/週 地域活動支援センター1/週
利用者E (難病・精神・区分6・60歳)	排泄介助。 身体機能維持のため、生活リ ハビリの実施。 余暇支援(音楽、映画、スポー ツ) 外出支援でコンサート	就労継続支援B型 2/週 介護保険デイケア 1/週

